

令和5年度 市貝町立市貝小学校 学校評価書

1 教育目標

1	さとく	○よく聴き、よく考え、伝え合う子
2	やさしく	○豊かな心をもち思いやりのある子
3	たくましく	○明るく元気で何事にも積極的に取り組む子

2 学校経営の方針

経営目標 「一人一人の子どもを大切に、協働して信頼に応える職員集団」	
① 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくり～ICTを効果的に活用した新しい学びの創造～	
② 一人一人が輝き、仲間と共にあゆむ学級づくり	
③ ふるさとを愛する子どもの育成	
④ 地域・保護者と連携・協働した教育活動が展開される開かれた学校	
⑤ 積極的に学校運営に参画し、「チームいちがい」で取り組む教職員集団	
教育スローガン (学校生活の基本)	
あいさつ あつまり あとしまつ キラリかがやく 市貝っ子	

3 今年度の努力点

◎地域と学校の協働体制の充実 ・地域コーディネーターとの連携 ・幼保小交流、小中連携の充実 ・学校評議員会の充実 ◎教職員の資質の向上 ・校内研修の充実 ・若手教員の育成 ・服務規律の保持	◎ふるさと学習の推進 ・豊かな体験活動の場の設定 ・総合的な学習の時間、生活科の充実 ・地域の人材を活用した学習の展開 ◎保護者との連携 ・保護者の思いを生かす指導 ・PTA活動の充実 ・各種ボランティアとの連携	◎地域と連携した安全指導の徹底 ・安全安心な学校づくりの推進 ・安全教育、防災教育の工夫・改善 ・登下校時の見守り隊の組織化 ◎業務改善の推進 ・業務の見直し・改善の推進 ・働き方改革についての意識化 ・PDCAサイクルの確実な実施
---	---	---

4 評価

※ 学校関係者評価 右欄に A=優れている B=良い C=おおむね満足 D=改善を要する
 ※令和5年度職員24名 (但し各自の業務内容該当項目のみ回答するためすべての項目は24名回答とはならない)
 ※A→25%以上 A評価(D評価無) B→AB評価で50% C評価→C評価が全体の25% D評価→D評価が全体の25%

項目	評価指標	主な具体的評価指標 ★は本年度の重点	自己評価		学校関係者 (学校運営協議会委員) 評価	
			評価	取組状況、成果・課題		
教育課程	教育課程の適切な実施の下に、学校は明るい雰囲気で見守り児童は生き生きと生活している。教職員は責任をもって意欲的に仕事に取り組んでいる。	① 児童や学校の実態、保護者や地域の意見・要望を踏まえ、学校としての教育目標(重点化された目標)を適切に設定している。	A=14 B=10 C=0 D=0 A	○配慮を要する児童や保護者との関係を築き関わりをもつ等、実態に即して実施できている。 ○保護者アンケート結果を参考に対応できることはすぐに対応している。 ○新学期当初、また職員会議ごとに学校としての教育目標、またそれに基づいた毎月の各種指導について理解する時間を設けてあり職員が共通行動できている。	A	○先生方と児童、保護者の信頼関係がしっかり構築されている。日々充実した学習活動や学校生活が展開できていることや児童が心身共に健康に成長している様子がアンケートの結果にも表れている。 ○何度か学校を訪問したが、子どもたちがのびのびと楽しそうに学校生活を過ごしていた。 ○アンケートの結果にもそれが表れている。 ○アンケートの結果からも子どもたち自身が学校生活に満足して、夢をもって登校してしていることが分かった。
		② 学校の教育課程の編成・実施の考え方について教職員の共通理解を図っている。	A=15 B=9 C=0 D=0 A	○教員間や学年間で情報共有化を図っている。 ○教育課程実施については、適宜、相談・検討がアリ共通理解努めることができた。 ▲継続する行事、削減する行事、実施内容・実施時期の変更等、教務と担任で検討できると良い。	A	
		③ 教育課程の実施に必要な教科ごとの年間指導計画、評価計画や週案等を適切に作成している。	A=12 B=10 C=2 D=0 A	○月、学期、週ごとに指導計画や週案等を確認してできている。 ○週案が簡略化され、業務改善されている。 ○総合の教科、内容が自校化されていて素晴らしい。	A	
		④ 全教育活動を通しての道徳教育や学校行事などの特別活動を適切に運営している	A=12 B=8 C=2 D=0 A	○コロナ以前の状況に戻りつつあるため、内容等を検討し工夫改善しながら実施できた。 ○教室後方に道徳コーナーを設置し、学びの足跡がある。 ▲一方で学びの足跡を日常の生活と結びつけて指導できなかった。	A	
		★ 豊かな体験活動の場の設定などを行い、ふるさと学習の推進を図っている。	A=11 B=8 C=2 D=0 A	○地域と連携して充実した活動ができた。(8名) ○担当の先生の連絡調整でスムーズに実施できた。(2名) ○「ふるさと市貝」に関する学習は充実している。 ○ゲストティーチャーを活用できた。 ○地域コーディネーターの方を活用して、生活科でも活用できた。 ○工夫しながら体験活動ができた。 ▲利用した学年の先生が記録に残しておくシステムだと担当の先生が忙しくならないと思う。	A	

	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○(児)学校が楽しい。先生が優しい。よく話を聞いてくれる。 ○(保)実習や体験活動が多く、飽きることなく楽しい活動ができる。 ○(保)担任の先生以外の先生も子どもに声をかけてくれる。 ○(保)子どもと先生の距離が近い。信頼関係が築ける。	
学習指導	教職員は児童に確かな学力を身に付けさせるために努力している。	①説明、板書、発問の工夫等を取り入れ、ねらいを明確にした分かる授業の展開に努めている。	A=5 B=12 C=4 D=0	B	○めあてを明確にして授業実践できた。(3名) ○個別最適な学びの実現に向けて、ICT 機器も積極的に活用(利用)した。 ○ブロックごと、研修を通して、日々授業を改善できるよう努めた。 ○授業検討会の意見をもとに授業の再構築をした。 ○学力向上推進リーダーの御指導で自分が気付かない点について再考し、改善を試みた。 ○校内研修、指導案検討会、学力向上推進リーダーとの話合等により、授業の展開の工夫に努めた。	A	○恵まれた教育環境や地域の人材を生かした体験活動等が工夫して大切に行われている。 ○ICT の活用に意欲的に取り組んでおり、効果的に学習に活用できている。先生方のスキルや意識も高い者があるように感じる。 ○今後も情報モラル等の指導も適切に実施し、正しく効果的にICT 機器や情報を活用できる児童を育成して欲しい。 ○学校評価では結果の考察より、これまでの教科書通りの教えから脱却して教科書のない用に基づいた様々な学習の形があっても良いか。 ○先生と子ども建ちの双方に応用力や適応力が求められる世の中となっているので参考まで。 ○ICT 教育も必要だが、国語力も必要。読解力も必要。読書感想文でも感想が言えない。ICT 教育と平行して国語力も必要。
		②T、Tによる習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習、個に応じた指導を適切に実施している。	A=8 B=9 C=3 D=0	A	○T、Tとの連携しながら補充的な指導、個に応じた指導が実施できた。(5名) ○算数では学習方法や形態を児童自身が選択できるよう意識して指導した。 ○様々な形でのT、Tの支援があり助かっている。(2名) ○後期はT、Tの配置の見直しがあり、良かった。(2名) ○今後も国語・算数はT、Tがどのクラスも入るシステムをお願いしたい。 ○急な時間変更でも対応していただき感謝している。 ○授業中のT、Tの素早い対応で児童全員が授業に参加できる。 ○今後も体育や図工等の怪我しやすい実技教科も人での許す限り取り入れるとなおよい。	A	
		③各教科等で身に付けた知識や技能との関連を図った総合的な学習の時間を展開している。	A=4 B=11 C=1 D=0	A	○国語で学習した文ことを総合で生かせるようにした。 ○他の教科で得た知識や技術をもとに総合の発表で行かすようにした。	A	
		★ICT 機器の利点を追求し、効果的な活用法を実践することを通して、主体的、対話的で深い学びにつながる指導法を工夫する。	A=9 B=7 C=4 D=0	A	○学級担任会で情報共有野庭があり、機器の利用法等を授業に取り入れ溜など、児童の対話的な学習を促せた。また、指導力の向上にもつながった。(3名) ○様々なICT 形態を利用し、試行錯誤して実践した。 ○先生方の御協力でICT を使った振り返りが定着し、それが児童の主体的・対話的な学習につながっている。 ○ICT に関して先生方が自主的に取り組み、深い学びにつながっている。 ○ほぼすべての教科でICT を活用できた。研究主任を中心に、学校課題として積み重ねたものを生かして取り組めた。	A	
		★魅力ある学習課題の設定や体験的問題解決的な学習を展開している。	A=5 B=10 C=5 D=0	B	○導入でもふりかえりを生かしたり見通しをもたせたりすることで「これならできそう」と思えるようにした。 ○できる限り体験的な学習を意識して取り入れた。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○(児)分かるまで丁寧に教えてくれる。授業はICT を使って分かりやすい。 ○(保)ICT 教育が充実していて良い。子どもたちの学習状況に合わせて教えてくれる。		
心の教育・道徳教育	教職員は児童が豊かな心を育み、道徳的実践力が身に付くように、心の教育及び道徳教育の充実に努めている。	①教育活動全体において体験活動を充実させ、温かい人間関係づくりを通して思いやりの心が育まれるように努めている。	A=12 B=10 C=1 D=0	A	○体験活動を通して、友達のよさやがんばりを認め合えるような指導に努めた。	A	
		★考え、議論する特別の教科道徳の実践を通して、児童が善悪についてしっかりとルールやマナーを守り、道徳的実践力が身につくように努めている。	A=5 B=13 C=2 D=0	B	○道徳の授業ではペア、グループ等の友達との意見交流の場を設定した。様々な視点より道徳的価値について考えるようにした。 ○道徳でも自分とは違う考え方に触れることで道徳的実践力の向上に努めた。 ○道徳でのキーワードを掲示し、日常でも目に触れるようにして意識化させた。 ○道徳の実践記録や教室の掲示等、工夫した。 ▲学習したことを日常で実践することについては課題がある。	A	
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○(保)話をよく聞いてくれる。体験活動が楽しい。 ○(児)悩みがあればすぐに対応してくれる。穏やかな先生が多い。		
キャリア教育	教職員は児童が将来の生活によりよく適応し進歩する能力を伸ば	①日記指導や日々の学級指導において、児童が自分の日常を振り返ったり、自分のよいところに気付いたり、伸ばしたい自分の姿や目標などを意識したりする機会を	A=6 B=9 C=5 D=0	B	○各行事で中心となって実践した場合はその都度振り返りさせたり良い姿を伝えたりする場を設けた。 ○最高学年としてどうあるべきかを常に考えさせ、行事や活動に取り組みせ、成長できるよう支援した。	A	

	できるように努めている。	設けている。											
		②学級活動等の指導計画に、将来のことを考える学習を位置付け、自分の将来の夢や希望を目指して努力するよう指導に努めている。		A=1 B=11 C=5 D=0	B		○キャリアパスポートを利用し、行事の場면을主に活用しながら将来について考える機会をつくりだしている。 ▲キャリアパスポートを使用する学習等、学活・道徳の時間以外ではあまり将来に関する学習ができなかった。		A				
	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A		○(児)学年に関係なく仲よし。次(一つ上)の学年の様子が分かる。 ○(保)様々な活動をしてくれる。異学年同士も仲がよい。						
児童指導	教職員は児童が希望や目標をもって生活し好ましい人間関係を醸成し、基本的なモラルや生活習慣を身に付けられるよう指導の充実に努めている。	①全職員の共通理解の下に指導体制が整備されている。		A=7 B=14 C=2 D=0	A		○児童指導の場面では管理職の御指導のもと、情報を共有し、迅速な対応に努めた。 ○学習指導の場面では、学級担任会やブロック長の話合で研究の方向性を確認しながら進められた。 ○毎月の学習指導部会、児童指導部会での指導体制はミドルリーダー中心に整備され、共通理解共通行動できた。(3名) ○クラスの問題等を管理職や関係の先生方に相談でき、学校全体で考える体制が整っていた。相談し対策をすることで学級も落ち着いている。 ○職員会議等で共通理解が図られるので協力して対応できる体制となっている。		A	○残念ながらいつの時代も暴力的な児童、いじめ等はある、簡単に解決はしない。保護者からの要望を含め、校内・教員業務として対応できるものとそれ以外は明確化して、保護者にも働きかけていくこと、発信することは大切かと思う。			
		②規範意識や基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を適切にしている。		A=4 B=17 C=0 D=0	B		○中学校への進学も視野に入れ、集団の一員であることを繰り返し指導した。 ○「自分がされて嫌なことはしない。」「自分でできることは自分でやる」ことを常に意識させた。 ○「当たり前前」のことが「当たり前」にできるように根気強く、継続している。特に「3あ運動」の意識・実践化。		A	○あいさつは児童も先生も残念に思うことがある。			
		③職員の共通理解を図り、児童の問題行動に対する未然防止と指導に当たっている。		A=5 B=12 C=4 D=0	B		○報告連絡相談は迅速対応した。 ○休み時間の校庭の見守りによる児童のトラブル回避に多くの先生方に協力いただいている。 ○周知したいことは児童の記録に記入するように努めた。 ○問題行動については関係職員への連絡し組織的に取り組んだ。 ▲「未然防止」までには至っていない。(2名) ▲隙間時間(休み時間の最初や終わり)に問題が怒ることが多く、難しさを感じている。 ▲「当たり前」の指導されると「怒る」「感情を爆発させる」児童の割合がここ数年で急増した。 ▲どの先生も根気強く気持ちの折り合いがつかないように丁寧な指導をしており、保護者も非常に理解がある。しかし、「学年相当の感情コントロール力」については現状では低下している児童の割合が非常に高いことが現在の児童指導上の課題でもある。 ※クールダウンエリア活用		A	○委員として学校訪問をしたときはあいさつをよくしてくれるが、ボランティア等で訪問すると児童も先生も素通りされる。こちらからあいさつするとしてくれるが残念に思う。 ○あいさつは第3者にも自らできるようにして欲しい。			
		④教育相談を定期的に行い、児童理解に努めている。		A=7 B=11 C=0 D=0	A		○教育相談の時間だけでなく、休み時間や給食の時間も児童理解や児童の実態把握の時間に充てている。(3名) ○定期的な教育相談の時間だけでなく、SC や SSW、心の相談員と連携し必要に応じて相談の場を設けた。 ○担当の先生の指示で、適切な時期に教育相談週間が設けられている。		A				
		★思いやりの心、JRCの理念(気づき、考え、実行する)を基盤とした「3あ」運動の推進。		A=4 B=16 C=1 D=0	A		○行事や校外学習で実践できるように指導した。 ○3あについては適宜指導をした。 ○3あの中で、後始末は良くなるようになった。 ○始業終業の挨拶はできるようになった。 ▲代表委員のメンバーができるが、その他の児童に意識させることが課題か。 ▲校内での挨拶は自らできる児童が少ない。 ※引き続き児童会でのあいさつ運動啓発		B				
		★居がいがあり、思いやりのある学級、学校集団に努めている。		A=5 B=11 C=2 D=1	B		○様々な児童がいるが、思いやりのある接し方をしている児童が多い。 ○学年末に向けて友達関係は落ち着いてきている。 ○友達のよさを伝える学級づくりに努めた。 ○学級の問題は時にクラスで共有し何が悪くてどうすべきか話し合った。 ▲QUの数値が低い児童に対しては関わり方を再考したい。		A				
	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A		○(児)一緒に遊んでくれる。悩みを聞いてくれる。 ○(保)親身になり相談しやすい。 ○(保)子ども一人一人をしっかり見てくれるので何かあったときに相談しやすい。						
人権教育	教職員は一人一人を大切に、児童	①教育計画への適切な位置づけを行い、人権意識の高揚を図っている。		A=3 B=14 C=3 D=0	B		○人権掲示を月に1回程度は変更することができた。 ▲教職員による児童の呼び方は徹底すべき。(○○さん) ※職員会議等で今一度 人権主任より再確認		A				

	が互いのよさを認め合い人権を尊重し合う望ましい人間関係を育成している。	②各教科等の特質に応じて「育てたい能力・態度」の育成に努めている。	A=3 B=14 C=2 D=0	B	○指導側はもちろん、児童にもねらいを明確にし、ゴールに向けて学習していくことを意識づけた。	A
		③校内研修の機会を捉え、教職員自らが自分の言動について振り返り、人的感覚を磨くように努めている。	A=5 B=15 C=0 D=0	A	○自分の言動が他者にどのように受け取られているか、自分なりに意識して職務に当たった。	A
	児童・保護者アンケート	児童 A 保護者 A			○(児)みんな親切。優しい友達が多い。 ○(保)思いやりがある。先生が存在が安心材料となっている。 ○(保)何より子どもが楽しく登校できるのは友達と先生のおかげ。	
特別支援教育	教職員は一人一人のニーズを把握し適切な教育的支援を行っている。	①指導部会・職員会議後や打ち合わせ等で共通理解に努め、児童指導や学習指導について校内指導体制が整うように自分の立場より努めている。	A=3 B=17 C=0 D=0	B	○学習指導面では研究の方向性等について積極的に話し合った。 ○毎月の職員会議等で出されたことを意識して、組織として同一歩調で取り組むことに努力した。 ○月に1回児童指導部会が開かれることで各学級の様子が詳細に分かり組織的対応に当たれた。 ○指導部会により他の学年の状況や自分の学年について良いところや必要と思われる今後の指導を全体で考察できた。 ▲児童指導面でリーダーシップがとれず、良い対応ができなかったことが反省。	A
		②個別の指導計画を適切に作成し、共通理解と活用を努めている。	A=1 B=15 C=0 D=0	B	○保護者との面談で内容を確認し、実践できた。 ○日々の連絡帳でも保護者と連携し、支援の在り方について考えている。 ○些細なことでも保護者と連絡を取り合い、成長をたたえる等、支援することができた。	A
		③医療、福祉など関係機関等との連携を適切に図っている。	A=2 B=14 C=3 D=0	B	○管理職に間に入っていただけで有り難かった。 ○いろいろな予定がある中、面談等の実施等、沢山手をかけていただいた。 ○疾病等がある児童の保護者には、適切な時期に報告の依頼等の連絡をしている。	A
		★一人一人の教育的ニーズに応じた学習支援を行っている。(支援タイム等)	A=3 B=13 C=1 D=0	B	○一人一人に寄り添った支援ができている ○支援タイムやT.Tによって個別支援が実現できている。 ○個に応じた支援は精一杯実施できている。 ▲一方で、保護者の要望や児童の実態は今できる現場より上回っていると感じる。	A
	児童・保護者アンケート	児童 A 保護者 A			○(保)多くの先生が理解と協力をしてくれている。 ○(保)少人数での学習サポートの先生がいること。支援タイムや通級があり、色々な先生が子どもの学習状況に合わせて授業内容を教えてくれる。	
保健・健康教育	学校は、児童及び教職員の健康の保持増進に努めている。	①児童を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等を含む)に関する体制を整備している。	A=3 B=13 C=3 D=0	B	○養護教諭を中心に適切に実施できている。 ○心の相談員、SC、養護教諭にも児童の心のケアをしていただいている。 ○警察、地域の助産師・保健師等と連携できた。	A
		②日常の健康観察や疾病予防、児童の自己健康管理能力向上のための取組を適切に実施している。	A=4 B=16 C=0 D=0	A	○学期に1回、養護教諭が授業をしてくださりありがたい。児童の意識も高まる。 ○遅刻・早退、その連絡まで多岐にわたって養護教諭にお世話になっている。 ▲児童保健委員会の活用が不十分であった。今後充実化したい。	A
		③健康診断や環境衛生検査を適切に実施し、事後処置の徹底を図っている。	A=5 B=12 C=1 D=1	B	○学校医等と連携した。 ▲ハンカチ、ティッシュ持参確認を毎日実施。しかし、連絡帳に書いても改善されない。 ▲お便り以外で家庭へ毎月の衛生検査の前に知らせる仕組みが必要か。衛生習慣、生活習慣に気をつけてもらえるような啓発。 ※養護教諭調整 調査結果について委員会児童の放送での呼びかけ等	A
		④食育に関する指導を各学年の年間指導計画に位置付け、適切に実施している。	A=9 B=2 C=4 D=0	B	○栄養教諭に授業を計画通りに実施できた。 ○授業を栄養教諭に実施していただいている。	A
		★教科体育及び教育活動全体の中で、効果的な体力づくりを実践している。	A=2 B=12 C=3 D=0	B	○体力づくりで体を動かす機会が多くとれた。 ○体力づくりが復活し、日々の体力向上へ向けての積み重ねができた。 ○行間に体力づくりを週2回できた。継続実施したい。 ▲5分間走では、だらだら走る(自学級の)児童が気になったので、個人で目標設定してから取り組ませよう反省。 ※体育主任呼びかけ ※各学級にて	B
					○全国的に肥満児問題は現存している。 ○食育や運動が苦手な児童、運動したくても環境が整わない児童に対し学校環境の中でどう対応していくのかが今後の課題である。 ○学校だけでなく、家庭・地域、行政・関係者を巻き込んだ協力や理解が必要。 ○今後も町の農作物を使用するなど、推進をお願いしたい。	

	児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	B	○(保)ランチルームがあり、おいしい給食が食べられること。 ○(保)給食によって食べられる食材が増えてきたこと。メニューが豊富。 ▲(保)肥満児が多いので体力づくりに力を入れて欲しい。			
安全管理・安全教育	学校は、安全・安心な環境の確保に努めている。	①学校事故等の緊急時に適切な対応ができるような危機管理マニュアルを作成・活用している。	A=8 B=12 C=3 D=0	A				A	
		②安全点検(通学路を含む)を組織的・計画的に実施し、危険防止の措置を講じている。	A=7 B=12 C=1 D=0	A	○月1回でも破損箇所や危険箇所が見つかるので安全点検は重要。 ○安全点検に児童保健委員会も参加させ、教職員と児童の双方の目で点検できるよう体制整備した。		A		
		③交通ルールの遵守について学校行事や学級活動等を通して指導し、交通安全の意識の向上に努めている。	A=6 B=14 C=0 D=0	A	○校外学習等で必要に応じて指導した。 ○他教科との関連も意識し、動画を視聴するなど関心を高めた。 ○バス・徒歩・学童保育の対応等、登下校の対応等、状況に応じて適切に実施した。交通安全の意識向上につながった。		A		
		④防災・防犯に関する訓練等を適切に実施し、教職員及び児童の安全対応能力の向上に努めている。	A=5 B=16 C=0 D=0	B	○担当者のおかげでスムーズな訓練ができた。 ○定期的に様々な訓練が実施されておりありがたい。 ○外部講師との連携が図れ、効果的な訓練だった。 ▲訓練の最中にふざけてしまう児童がいた。(命に関わる大事な訓練のため)事後指導を見直したい。※各担任指導		A		
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A	○(保)交通安全に対する指導をしてくれる。 ○(保)子ども同士のトラブルの対応が良くて感謝。				
組織運営	教職員は一致協力し、組織的、機動的な運営に努めている。	①教育目標の具現化に向けて、職員が共通理解の下、協力して取り組むよう努めている。	A=9 B=8 C=3 D=0	A	○児童指導や授業等、お互い相談しやすい雰囲気があった。 ○先生型の距離が近く、小さな悩み事でも相談しやすい雰囲気がある。 ○所属の学年に関係なく職員同士でよく話ができている。		A		
		②校務分掌や各主任の役割が適切に機能している。また、副主任は主任をサポートしている。	A=8 B=9 C=3 D=0	A			A		
		③各種文書や個人情報等の学校が保有する情報を適切に管理している。	A=7 B=10 C=3 D=0	A			A		
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****				
研修・資質の向上	教職員は定期的に研修会を開き、よりよい授業を目指して学び合っている。	①校内の研究組織を生かして主体的に研究に取り組むことができている。	A=7 B=9 C=2 D=0	A	○研究主任の負担が大きくなり、申し訳ない。 ○先生方が協力的でありがたかった。 ○自分自身も勉強になった。 ○来年度の発表に向けて、全職員で取り組んでいる。		A		
		②学校課題解明のための授業研究を計画的に行い、授業改善に取り組んでいる。	A=7 B=6 C=4 D=0	B	○定期的な研修と振り返りを行うことで、授業改善に生かした。 ○学校課題をふまえて、自分自身も授業改善できた。 ○研究授業により、成果や課題を共有することで授業改善につながった。		A		
		③研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めている。研修したことを生かして職務に取り組んでいる。	A=6 B=10 C=3 D=0	A	○研修で学んだことを回覧したり学級担任会で報告したりし、本校の教育実践に生かせるように努力した。		A		
		★校内研修(教員同士の学び合い)が充実し、自分自身の資質の向上に役立っている。また年度当初より資質が向上している。	A=5 B=11 C=2 D=0	A	○校内研修や各学年の取り組みを自分の学級にも生かした。 ○振り返りについて学び、授業実践を参観することで自分の授業改善に役立てた。 ○計画的に研修が行われ、資質向上が図られている。 ▲図工、理科などのミニ研修があるとよい。 (時間外、希望性等) ※実施したい研修について学習指導主任に申告を		A		
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***	*****				
学校評価	学校は、学校評価を計画的に行い、	①学校運営への参画意識が高まるように職員で話し合い、評価指標を明確にして評価している。	A=4 B=11 C=3 D=0	B			A	*****	

改善を図るとともに、その結果を公表している。	②外部アンケート等を実施し、自己評価を行う上での参考としている。	A=3 B=15 C=2 D=0	B		A		
	③学校関係者による主体的能動的な評価が年1回以上定期的に行われている。	A=6 B=12 C=0 D=0	A		A		
児童・保護者アンケート	児童 *** 保護者 ***	*****					
情報提供	学校は、開かれた学校を目指し、進んで情報を公開している。	①学校に関する様々な情報が、保護者や地域住民に、十分に分かりやすい内容で、かつ適切な分量を提供している。	A=7 B=10 C=3 D=0	A		A	○保護者の意見にHPは保護者限定希望(パスワード付)とあったが現在のままが良い。 ○HPの内容は個人情報等で問題となる内容ではないのですべての人が見る形が良い。 ○HPの更新がまめで学校生活がよく分かる。 ○学校行事の時間(授業参観)等がHPでもわかると思います。 ○保護者は「もっとHP掲載を」とあるが、先生方の負担にならない程度が良い。
		②学校だよりや学年だよりの発行、ホームページの公開、メール配信等を行い、情報の伝達・公開を適切に行っている。	A=14 B=4 C=2 D=0	A	○各種だよりの発行、HP更新、メール等の状況に応じた発信ができた。	A	
児童・保護者アンケート	児童 A 保護者 A	○(保)ホームページがほぼ毎日更新されている。 ○(保)ホームページが更新され、学校の生活の様子が分かりやすい。					
保護者・地域住民等との連携	学校は様々な教育活動において、保護者や地域住民の意見や協力を得ようとしている。	①地域コーディネーターと情報交換会を開き地域連携教員と連携を図りながら教育活動に当たっている。	A=8 B=8 C=3 D=0	A	○地域連携教員がリーダーシップを取り、事前の連絡・計画からスムーズに実施できた。効果的な教育活動であった。(3名) ▲コロナ前に戻りつつあるが、負担にならないように活動量、連携の在り方について再考が必要か。※地域連携係で調整を	A	○「運動会の段取りが悪い」と保護者アンケートにあったが、(保護者自身の)人任せ・指示待ちがあった。 ○リーダーシップの資質も保護者の中で育ててくれれば、子どもたちも巣の姿を見て育ていくのではと思う。 ○環境整備は地域や保護者の力が重要。引き続き地域・保護者そしてPTAとの連携をお願いしたい。
		②保護者や地域住民の授業参観や学校行事への参加の機会を積極的に設け、アンケート等を実施するなどして、具体的な要望や意見を把握し適切に対応している。	A=8 B=10 C=2 D=0	A	○今年度は授業参観、自由参観も沢山実施できた。 ○運動会では保護者アンケートによって改善点が明確化できた。 ○運動会後のアンケートでは、その後の職員会議で一つ一つ取り上げ共有化し協議していたのが良かった。	A	
		③地域の人々と交流する機会を設けたり、授業や学校行事等に地域の人材など外部人材を活用したりしている。	A=7 B=9 C=3 D=0	A	○大きな行事だけでなく、教科の中でも地域の方の力を借りて児童の指導に当たれた。 ○生活科で地域の方と交流できた。 ○外部の人材を活用できた。	A	
児童・保護者アンケート	児童 A 保護者 A	○(保)体験的な活動ができるような地域の方の協力がある。 ○(保)先生たちが親しみやすく、コミュニケーションがとれている。					
教育環境整備	設置者と連携して児童が効果的な学校生活を送れるよう、環境整備に努めている	①施設・設備を有効に活用している。	A=8 B=11 C=2 D=0	A	▲中庭の活用はどうか。(1年生が最初のうちはそこで遊ぶ、ドッチビーはそこでやる等)※体育部で検討を	A	○自走式刈り払い機があると良い。(校舎南側の芝生用)
		②教材・教具・図書の整備状況を教員自身が把握し、教育活動で児童が有効に活用できるよう意識化する。	A=4 B=13 C=1 D=0	B	○図書整備を司書の先生が実施した。 ○司書、図書ボランティアの方との連携で図書館が整備された。 ▲図書館整備、及び活用化等啓発する仕組みがあると良い。 ※図書係より周知方法工夫 ▲夏に各教材室の整備をしたが、どこまで処分するか。目安を。 ※教材備品台帳活用を	A	
		③学習・生活環境が整備されるよう教室内の環境整備にすすんで取り組ん	A=6 B=14 C=0	A	○SSSと連携し、校内の環境整備に努めた。 ○机やロッカーなど目につくところは毎日整頓した。 ▲教室の環境整備はある程度徹底した方がよい。	A	

					でいる。	D=0	▲児童に整理整頓を指導する立場であること、また保護者から見ても信頼されるように。 ※各自の教室整備 再確認
児童・保護者アンケート	児童	A	保護者	A			○(児)校庭が広く、のびのびと走り回れる。 ○(保)自然豊かで、遊具も多い。 ○(保)学校全体がいつも綺麗で、整理されている。
情報提供	・文書・会計処理を適切に行う。	①文書書処理・会計処理を適切に行うことができたか。		A=6 B=10 C=2 D=0	A	*****	* *****
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***			*****
業務改善	・働き方改革を意識した業務改善	①働き方改革を意識した業務の精選や改善について自分自身が意識して業務調整をきたか。		A=1 B=7 C=11 D=0	C	○今年度の反省を生かし、行事等の教育活動や業務の精選をしてきたい ▲早く帰ろうという意識はあるが、なかなか時間を短縮できないのが現実だった。業務の精選をしていきたい。 ▲色々な考え方がるので業務を精選するのが難しい。 ▲つい遅くなってみんなで帰りが遅くなってしまいうこともある。 ▲早めに帰ることが悪い気がするのも事実。体調や家庭事情、それぞれの事情を考慮しながら働き方を見直していきたい。○	* ○ICT活用はかなり進んでいる。ICTは一つの手段であるため、先生方の労力を使ってしまいうすぎないよう業務改善・働き方改革に努めて欲しい。
児童・保護者アンケート	児童	***	保護者	***			*****

学校運営についての意見

学校運営協議会委員	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者のアンケート結果と児童のアンケート結果に差が生じていた。 ○保護者のアンケートと児童のアンケート結果に差があった。感じ方の違いか。 ○家庭でのコミュニケーションはとれているのか気になったが、設問16(親子のふれあい・会話)の項目では講評のため不思議な結果である。 ○児童のアンケート結果よりも保護者のアンケート結果の方がA評価数値が上回っていたのが、設問16(親子のふれあい・会話)のみであった。 ○児童が感じていることを保護者はそんなに理解していないのか。 ○親子の会話が少なくなっているかもしれないが、会話のきっかけになる学校生活の様子をもっと発信しても良いのではないのか。 ○今回、一緒に活動させてもらって、子どもたちの色々な様子や表情が見られた。生き生きと感ずる子はそのまま伸びていくように、ちょっと不安がある子はさりげない声かけが地域としてできればと思う。 ○学校に登校できない児童に対しても将来の希望をもって生活が続けられるよう関係機関との連携に期待したい。 ○事前に学校から丁寧な取組の説明、見学の場を設けていただき、きめ細やかな計画に沿って教育していることを知ることができた。
児童	<ul style="list-style-type: none"> ○学校が広い、校庭も広い。 ○上級生が優しい。 ○給食がとてもおいしい。ランチルームがある。 ○先生たち、みんなが優しい。担任の先生がよく話を聞いてくれる。 ○遊具がたくさんあって楽しい。 ○違う学年の人とも仲よし。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の様子を先生方はよく見てくれる。何かあれば直接コミュニケーションを取ってくれる。 ○毎朝校長先生が校門で出迎えてくれて対応してくれる。 ○緑が多く、生き物や自然とのふれあいができる。 △その他(主な要望・他の要望は保護者アンケート結果を参照) <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育併設設置希望・体操着・上履き等をスーパーでの販売希望。 ・PTAの役員選出方法について再確認。 ・体育館男子トイレのにおい対策希望。 ・持ち帰り文書等アプリ化希望。
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員が心身共に健康で良かった。(それだけでも充分) ○研究については、研究主任中心に組織的に進めることができて良かった。 ○各自が担当する業務について機能的に職務に当たっているのが素晴らしい。 ○児童指導ではほぼ毎日色々なことがあり、お互いに相談できる雰囲気があり解決策を話し合えた。(担任一人の抱え込みと成らずに相談できた。) ○下校の集まりが良くなってきている。 ○状況に応じて一人一人に寄り添った指導ができていた。 ○次年度の学校運営については学校行事等について先生方の意見を聞きながら工夫・改善したい。 ○保護者への丁寧な連絡をどのクラスも行った。

